

2016年10月21日

各位

公益財団法人オリックス宮内財団

沖縄サンゴ礁再生プロジェクト 沖縄の子どもたちがサンゴ礁の苗を作る 「児童体験・学習プログラム」を2016年10月22日(土)に開催

公益財団法人オリックス宮内財団（所在地：東京都港区、代表理事：宮内 義彦、以下「オリックス宮内財団」）は、2008年7月から取り組んでいる「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」の活動の一環として「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・学習プログラム」を2016年10月22日（土）に開催しますのでお知らせします。

「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・学習プログラム」は、今回で10回目となり、沖縄県下の児童養護施設、母子生活支援施設、少年野球チームの児童約70名を招待し、「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」をテーマに「児童体験・学習プログラム」を実施します。

■開催スケジュール

日時：2016年10月22日（土）

- ①第1部 10：00～12：00
- ②第2部 11：30～13：30
- ③第3部 13：00～14：30

場所：沖縄県浦添市牧港 5-22-6

沖縄開発株式会社 水産養殖研究センター（TEL：098-871-1820）

参加人数：①②③合計で約70名

テーマ：「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」

概要：①サンゴ養殖水槽の見学、ナマコ・ヒトデなどのタッチプール体験

②移植用サンゴ苗の台座作り体験

③沖縄の環境学習 サンゴって植物？動物？

④昼食

⑤サンゴクイズ



Press Release



■「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」について

2008年7月からサンゴ礁やサンゴと共生する生物など海洋環境の保護を通じて、地球環境の保全に貢献する目的でスタートしました。既に約9,300本を沖縄県に移植しています。



■過去の「児童体験・学習プログラム」の実績

2009年3月から沖縄県下の子どもたちを毎回20名～40名招待して開催しました。沖縄の海洋生物を見学したり、触ったり、サンゴ苗の台座をつくる体験から沖縄のサンゴ礁の美しさや、自然の大切さを学習するきっかけとなることを願うプログラムを実施しました。サンゴ苗は水槽で3ヶ月養殖し、沖縄県宜野湾市沖に移植しました。

(写真は2015年12月の様子)



■オリックス宮内財団について

オリックスグループは、企業活動による貢献だけではカバーしきれない社会福祉、子ども・青少年、環境保全、音楽、文化芸術、スポーツ振興、国際協力などへの支援活動を行うことを目的に、2006年4月に「オリックス社会貢献基金」を設立し活動をしてきました。その後、2010年4月に、同基金の支援活動を引き継ぐ形で「一般財団法人オリックス財団」を設立、2010年12月に公益財団法人として認定を受け「公益財団法人オリックス財団」となり、2014年6月に「公益財団法人オリックス宮内財団」へ名称変更し、公益の一層の増進と、真に「豊かな社会」の実現に寄与することを目的に、社会貢献活動を継続的に行っています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部 永井・松川・上園

TEL : 03-5418-4313